

平成30年度 授業エキスパートを目指す授業研究会実施要項

埼玉県教育局東部教育事務所

1 趣 旨

学習指導要領のねらいを実現するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力を育成する創意ある授業について、校種を越えて参観し研究協議を深めることによって、管内の教師の指導力向上を図る。

2 主 催 埼玉県教育局東部教育事務所

3 実施・運営

研究会を運営する委員等は、次のとおりとする。

(1) 運営委員

東部教育事務所主席指導主事を運営委員長とし、東部教育事務所指導主事を運営委員とする。また、運営主担当者は東部教育事務所各教科等担当指導主事とする。

(2) 実施教科等

〈小学校〉国語、社会、音楽、家庭、外国語活動

〈中学校〉国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭（いずれか）、英語

〈小中いずれか〉特別支援教育、総合的な学習の時間

〈高等学校〉『未来を拓く「学び」プロジェクト』に係る授業

(3) 授業者

東部教育事務所管内の小・中学校教諭・主幹教諭、高等学校教諭・主幹教諭

※授業によっては、高等学校5年経験者研修異校種授業研究会の対象とする。

(4) 指導助言者

東部教育事務所指導主事、埼玉県立総合教育センター指導主事、市町教育委員会指導主事、小中学校長・教頭・主幹教諭・教諭等

(5) 司会、記録

東部教育事務所指導主事

(6) 参加者 各学校からの参加希望者

※小・中学校が連携した教育推進の機会として、異校種の教員の参加を推奨しています。

4 開催日等

(1) 9月～2月の調整可能な日（学校の事情によって調整する）

※ 研究授業は、各学校の日課（第5校時）に合わせて行いますので、学校により時刻が異なります。日程は、東部教育事務所のホームページに掲載します。

5 研究協議について

(1) 研究課題等の設定

ア 研究課題

基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫改善

イ 研究の視点

授業者と指導者とが研究課題を基に相談し、「私の授業の観てほしいポイント」として示す。

※「学習指導案（個人名、児童生徒の実態を消したもの）」、「私の授業の観てほしいポイント」は、授業研究会の約1週間前には、東部教育事務所ホームページに掲載します。

(2) 研究協議の進め方（例） ※会場校の都合によって変わります。

| | |
|--------------|-----|
| 授業者の説明、質疑・応答 | 10分 |
| グループごとの研究協議 | 45分 |
| グループ代表による発表 | 25分 |
| 指導・講評 | 20分 |
| 閉 会 | |